



***** ご案内 *****

下記のとおりセンシング技術応用研究会・グリーンシステム技術分科会の合同研究例会を開催いたします。研究例会、交流会のご参加は、2月2日(金)までに事務局までお申し込みください。多数お問い合わせの上ご来会いただきますようご案内申し上げます。

研究例会参加費：会員 無料、非会員 ¥8,000 交流会参加費：¥2500-

日時 平成30年2月9日(金) 13:30~16:50
場所 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス(堺市中区学園町1番1号) B3棟1階117号室
アクセス：南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分。
南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1,000m、徒歩約13分。
地下鉄御堂筋線「なかもず駅(5号出口)」から南東へ約1,000m、徒歩約13分
主催 センシング技術応用研究会、グリーンシステム技術分科会
連絡先・申込先 センシング技術応用研究会 事務局
TEL:0725-51-2534 FAX:0725-51-2597 E-mail:sstj@dantai.tri-osaka.jp

※参加者名、会社名・学校名、連絡先住所・電話番号をご記入の上、申込先にメールまたはFAXでお申し込みください。



研究例会 (13:30~16:50)

一講演一 (13:30~14:20)

「エネルギーハーベスティング技術活用の最新動向」
(株)NTTデータ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティングユニット
シニアマネージャー 竹内 敬治 氏

本講演では、近年、無線センサの自立電源などへの活用が進み始めたエネルギーハーベスティング技術の最新動向を紹介し、IoT社会を実現するための基盤技術としての今後の活用可能性と、普及に向けた課題を述べる。

一講演一 (14:20~15:10)

「積層型熱電素子の開発とWSN端末への応用」
(株)村田製作所 新規事業推進部 新規事業推進1課
シニアリサーチャー 中村 孝則 氏

身の回りの熱エネルギーを電気エネルギーに変換することができる熱電素子は、次世代のエネルギー源として期待されている。今回、新たに積層型の熱電素子を開発し、WSN端末の電源への応用を試みた結果について報告する。

一休憩一 (15:10~15:25)

一製品紹介一 (15:25~15:55)

「環境発電×IoTモジュール(作る・貯める・使う)の紹介」
太陽誘電(株) エネルギーデバイス部
次長 石田 克英 氏

発電デバイスとして熱電変換素子と振動発電素子、蓄電デバイスとしてEDLCを用いた、産業機器故障診断モジュールの事例を紹介する。本モジュールは、発電デバイスや蓄電デバイスを有する各社が、それぞれが得意な技術を持ち寄って開発したモジュールである。

一見学会一 (16:00~16:50)

大阪府立大学 ものづくりオープンプラットフォーム他

一交流会一 (17:00~18:30)

ベーカリーレストラン「シエル」
大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B15棟

<参加費：2,500->